

科目名		建築計画 I				
担当教員		木戸 久美子		実務授業の有無	○	
対象学科		建築大工科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択		必修	単位数	1	時間数	16時間
授業概要、目的、授業の進め方		建築物の基本的な設計の考え方、計画の進め方を座学や事例を通して学ぶ。 1. 集合住宅・住宅地についての計画手法を学び、建築設計に活かせる知識を習得する。 2. ノーマライゼーション・バリアフリー・ユニバーサルデザインなどの基本概念について学ぶ。 3. 講義→小テスト→解答→解説を繰り返すことで重要性を理解する。				
学習目標 (到達目標)		建築物の事例から、平面計画を学び、建築設計に活かせる知識を習得する。また、建築士2級の筆記試験範囲にあたる科目のため、合格点に達する習熟度を目標とする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料		①図説 やさしい建築計画 (学芸出版社)				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	集合住宅の計画-1 集合住宅の計画上の要点 ・断面形式による分類・集合住宅の長所・短所			方法: 教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標: 項目①を理解する 準備学習: 教科書①の予習		
2	集合住宅の計画-2 集合住宅の形式と分類 ・アクセス形式による分類 ・住棟の配置と住戸計画、共用部分について			方法: 教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標: 項目①を理解する 準備学習: 教科書①の予習		
3	集合住宅の計画-3 集合住宅の事例 ・集合住宅の変遷と代表的な事例について			方法: 教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標: 項目①を理解する 準備学習: 教科書①の予習		
4	小テスト①			項目1～3から抜粋し小テストで理解度の確認。 解答→解説を行う。 準備学習: 項目1～3を教科書、プリントなどで復習		
5	人と地球にやさしい建築計画-1 ①高齢者・障がい者に配慮した建築計画 ・住宅において高齢者などに配慮した計画			方法: 教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標: 項目①を理解する 準備学習: 教科書①の予習		
6	人と地球にやさしい建築計画-2 ①公共施設などにおける部位別の主要な留意事項 ・公共施設において高齢者などに配慮した計画			方法: 教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標: 項目①を理解する 準備学習: 教科書①の予習		
7	人と地球にやさしい建築計画-3 ①環境問題概観 ・主な環境問題と問題に対する取り組みについて ②資源循環型住宅と環境共生住宅			方法: 教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標: 項目①を理解する 準備学習: 教科書①の予習		
8	人と地球にやさしい建築計画-4 ①コンバージョンとリノベーション ・建物の再使用とコンバージョン代表的な事例について			方法: 教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標: 項目①を理解する 準備学習: 教科書①の予習		
9	小テスト②			項目5～8から抜粋し小テストで理解度の確認。 解答→解説を行う。 準備学習: 項目5～8を教科書、プリントなどで復習		
10						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
平常点	課題	小テスト		建築設計に必要な知識として建築基礎知識を理解した上で、設計への見聞を広げる。また定期的に小テストを行い習得状況の確認する。また、繰り返し行うことで重要なポイントをしっかりと理解させる。習熟度を上げるために、正解率の低い回答については、十分な解説を行う。		
10 %	70 %	20 %	%			
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴						